

## 北海道新幹線の整備促進に関する決議

北海道新幹線は、首都圏はもとより、東北、北関東圏との文化・経済交流の促進や、新産業の創出等の効果をもたらすものであり、魅力と活力に満ちあふれた北海道を築き上げ、環境と経済の両立を目指す我が国の発展に大きく貢献する社会資本である。

積雪寒冷という厳しい気象環境にある本道にとって、安定的な高速交通ネットワークを確保し、安全で環境負荷の少ない質の高い交通を実現するためにも、北海道新幹線は欠かすことのできない基盤である。

北海道新幹線の札幌延伸が実現すると大幅な時間短縮効果が生まれ、都市と都市を「点」で結ぶ航空機とともに、「線」で結ぶ新幹線という複数の高速交通ネットワークを持つことになり、首都圏はもとより、東北や北関東地域との間で、人や文化の新しい流れが起こる。

特に、東北と北海道は、北海道開拓の歴史からも極めて関係の深い地域であり、文化・生活面での共通性が強いことから、札幌延伸により、札幌圏300万人、青函圏100万人、仙台圏200万人の、合計600万人の相互交流が促進され、大きな経済効果を生むものと期待される。

北海道をはじめとする関係自治体では、行政と経済界が連携して各種の啓発事業に取り組むとともに、新幹線の開業効果を拡大・活用するための取組を積極的に推進している。

については、未着工区間を含む全線の早期完成に向け、次の事項について早急に適切な措置を講じられるよう強く要望する。

### 記

- 1．新函館・札幌間の全線フル規格での一日も早い認可・着工と早期完成
- 2．青函共用走行問題の早期解決及び新青森・新函館間の早期開業
- 3．独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構の特例業務（国鉄清算業務）利益剰余金の活用など、幅広い観点での建設財源の確保及び地方負担に対する財源措置の拡充

以上、決議する。

平成22年7月8日

北海道新幹線建設促進期成会 平成22年度総会